

提出された意見等の概要とこれに対する考え方（パブコメ結果）

案 件 名 : まちづくり基本方針の改定
 意見募集期間 : 令和3年12月23日～令和4年1月12日
 意見等の提出件数 : 12件（7人）

「県の考え方」の表記内容

【意見を反映】… 方針に反映する意見（3件）

【対応済み】… その趣旨が既に盛り込まれている意見（6件）

【今後の参考】… 今後、方針を推進する上での参考とする意見（3件）

項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
全般	① デジタルの情報がリアルな「まち」をより豊かにする時代になり、モノの価値は情報の質が規定するといっても過言ではない。 海、山、雪、森、いろいろなシーンを持つ兵庫県だからこそ、いろいろな情報を発信でき、いろいろな趣味やライフスタイルを持つ人々を呼び込めるのではないかな。 たくさんの隠れた価値を持つ兵庫県だからこそ、驚くような街を作れると思う。	1件	【対応済み】 ご意見のとおり、本県は気候風土や歴史文化の異なる旧五国の個性や高度なものづくり産業、多彩な地場産業、個性豊かな食材など、多様な特長を持っています。 このため、3ページの「②魅力・挑戦」の「主な取組の方向性」に記載のとおり、兵庫の魅力を活かすとともに、隠れた資源を磨き上げ、SNS等により情報を発信・共有する取組を進めていきます。
	② 他市町と同様に、政令指定都市である神戸市との連携をより円滑にしてほしい。	1件	【対応済み】 1ページの「(5)各主体の役割」に記載のとおり、地域のまちづくりにおいては、市町を含む各主体とのパートナーシップにより進めていくことが重要です。 ご指摘の神戸市とも、引き続き、緊密な連携のもと各種取組を進めていきます。
	③ 個人や地域が責任あるまちづくりを主体的に行う風土づくりが必要ではないか。	1件	【対応済み】 ご意見のとおり、個人や地域が主体的にまちづくりに参画することが重要です。 このため、1ページの「(5)各主体の役割」に記載のとおり、住民や地域団体等が主体的にまちづくり活動に取り組めるよう、県や市町とのパートナーシップにより進めていきます。

全般	④	市町村の緊密な連携のほかに、他府県との境界にある市町村同士の広域的な連携を図るべき	1 件	【意見を反映】 ご意見のとおり、他府県を含む広域的な連携を図ることは重要です。 1 ページの「4 基本方針の考え方」の「(4)各地域の関係性」のイメージ図において、他府県との広域的な連携を図ることを示していますが、わかりやすく「他府県との連携」を追記します。
	⑤	SDGs・脱炭素・スマートシティ・循環といったようなトレンドワードを取り入れて、最先端な計画に見えるが、疑問がある。 SDGsや脱炭素は、中米対立や世界情勢によって方針転換される可能性があり、これを軸に進めてしまうと取り返しがつかなくなる気もする。	1 件	【今後の参考】 SDGsや脱炭素は、地球の持続にとって重要な考え方であり、長期的に兵庫県のまちづくりを考える上でも必要な視点であることから、原案のとおりとします。 なお、今後世界情勢の影響等により、まちづくりを取り巻く状況に大きな変化があった場合には、本方針の見直しを検討します。
	⑥	SDGsについて、「誰も取り残さない」という理念で記載されているが、そもそものSDGsの考え方にある経済・社会・環境の視点を持ってまちづくりを進めてほしい。	1 件	【意見を反映】 ご意見のとおり、SDGsの考え方に基づき、経済・社会・環境の視点を持ってまちづくりを進め、すべての人が自分らしい暮らし方や働き方ができる兵庫県を目指し、各種取組の方向性を示しています。 この趣旨が伝わるよう、1 ページの「3 基本方針の考え方」の本文の一部を「SDGsの理念のもと、誰も取り残されない」に修正します。
	⑦	地域の公園の植栽をしっかりと維持管理するに当たって、行政が地域住民や企業とタイアップして持続可能な方法で行うことや、花緑いっぱい運動推進員が地域住民と行政のパイプ役となることを期待している。 このような取組を進めることで、花や緑に関わる人がもっと増えるのではないかと思います。	1 件	【対応済み】 ご意見のとおり、植栽の維持管理には、様々な主体の参画が不可欠です。 このため、1 ページの「3 基本方針の考え方」の「(5)各主体の役割」に記載のとおり、住民・ファン、地域団体・NPO、企業、市町、県がパートナーシップにより取り組みます。 なお、地域の公園の植栽の維持管理に当たっては、地域住民、企業とのタイアップや花緑いっぱい運動推進員と行政とのさらなる連携を図っていきます。

各 地 域 関 係 性	⑧	今後の人口減少や人口流出に耐えられる計画であるか疑問であり、長期計画として、残すエリアと捨てるエリアを明確に示す必要がある。 行政合併を進めながら、中心となる都市を5つほど（姫路エリア・明石神戸エリア・摂津エリア・豊岡エリアなど）選定し、そこに人口を集中させるような計画の方が現実的であり、将来に生き残るためには相当は変革が必要である。 住む場所と仕事をする場所を分けて、住む場所を安全にし、既存のエリアまで仕事に行くようにすれば、長期的にコンパクトになっていくのではないかな。	1 件	【今後の参考】 本方針では、今後さらなる人口減少が見込まれる中でも、誰もが自分らしい暮らし方を選択できる社会の実現をめざし、未来につながる将来像を示しています。 具体的には、4つの地域（多自然地域の集落、地方都市、郊外住宅地及び都市中心部）がそれぞれの都市機能を相互に補完・連携し、持続可能でコンパクトな都市構造を構築することとしています。 例えば、人口減少が顕著な多自然地域の集落では、食品スーパーや診療所等のある地方都市と連携することで安心できる暮らしをめざします。 このことから、残すエリアと捨てるエリアを明確に示すことは考えていません。 また、誰もが住む場所や働く場所などを選択でき、自分らしく暮らせるまちづくりを進めていくこととしています。
安全・安心	⑨	テーマの一つに安全・安心という項目があり、その趣旨には大いに賛同するので、防災と福祉を大事にする予算措置をしてほしい。 また、市町任せにするのではなく、県の手厚いフォローで今後も進めてほしい。	1 件	【今後の参考】 ご意見のとおり、まちづくり分野においても防災と福祉は重要です。 このため、本方針では、頻発・激甚化する災害への備えや高齢者等が安心して暮らせる福祉のまちづくりに係る取組を位置付けています。 これらに基づき、県・市町の役割分担のもと必要な施策を推進していきます。
	⑩	防災、減災の観点から、瀬戸内沿岸部における「南海トラフ巨大地震想定での震度ハザードマップ」、それに連動した「高潮ハザードマップ」を総合的に判断した分かりやすい避難計画があると安心できる。 計画の策定に当たっては、企業の取組を踏まえ、意見交換会を開催し、情報共有すれば、いい案が出るかもしれない。	1 件	【対応済み】 ご意見のとおり、各地域（2から5ページ）の「①安全・安心」に関する「主な取組の方向性」に記載のとおり、避難計画を含む地区ごとの防災計画等の策定を促進していきます。 また、1ページの「3 基本方針の考え方」の「(5)各主体の役割」に記載のとおり、企業等とのパートナーシップにより取り組んでいきます。
	⑪	MaaSの取組は都市中心部や地方都市だけでなく、県内すべての地域で進めてほしい。	1 件	【意見を反映】 ご意見のとおり、MaaSは県内全域で進めることが重要であるため、2ページの多自然地域の集落及び4ページの郊外住宅地の「①安全・安心」の「主な取組の方向性」に「MaaSの活用による様々な移動手段を組み合わせた一連の移動サービスの提供」を追記します。

安全・安心	⑫	県内のコミュニティバスの取組を兵庫県の公共交通政策の特色ある取組として普及啓発してほしい。	1 件	【今後の参考】 本方針を推進するにあたって、コミュニティバスの取組を含めた県内の特色ある事例の普及・啓発に努めます。
-------	---	---	-----	--